

♪ Philomusicotherapeutica (PMT) ♪

(フィロムジコ セラポイティカ)

Member Profile



金森圭司

飯塚三枝子

岩田 誠

市江雅芳

§ご挨拶

Philomusicotherapeutica (略称 PMT)は、2008年5月18日に結成された弦楽四重奏団です。

最初は、弦楽四重奏を楽しむことが目的でしたが、全員が音楽と医療に関わっており、しかも皆専門が異なることから、演奏と講演をセットで活動してみようということになりました。

名付け親は、岩田誠先生です。

名前の由来を伺ったので、下記に転載します。

「theapeutica はラテン語で治療学の意味です。その前に musico をつけましたので、musicotherapeutica が療法的音楽になると思います。philo は philosophiaのごとく、～を好むという接頭語ですので、Philomusicotherapeutica は「療法的音楽を愛好する」という意味になります。ラテン語では一語になりますが、カタカナ表記では途中一字あけてもよいと思います。」

演奏のお披露目は、岩田先生が会長を務める日本音楽医療研究会の第2回研究会（2008年12月7日（日）、東海大学校友会館、霞ヶ関ビル33階）。

最初の「演奏と講演」活動は、市江が主催する東北大学音楽音響医学分野第2回公開講座（2009年1月31日（土）、仙台市青年文化センター・シアターホール）。この公開講座は、日本生体医工学会「第8回音楽とウェルネスの学際的融合研究会」との共催です。

今後も、他の演奏家や研究者とのコラボレーションを含め、様々な活動をしていこうと、メンバー全員意気込んでいます。

（文責：市江雅芳）

§ 金森圭司（ヴァイオリン）

1954年、三重県生まれ。

♪音楽歴&職歴♪

4歳よりヴァイオリンを始める。

慶應義塾大学在学中、同大学ワグネルソサイエティーオーケストラの学生指揮者、ジュネスオーケストラのコンサートマスターを務める。世界各国から選ばれた音大生で構成される世界ジュネスオーケストラに文化庁から派遣され、そこで首席奏者に選ばれたことなどから音楽への転身を決意。

1978年、法学部卒業と同時に東京藝術大学音楽学部別科に入学。また、NHK交響楽団などでヴァイオリニストとして演奏し、当時のサバリッシュ、ホルストシュタインなど名指揮者のもとで経験を積む。さらに、桐朋学園大学オーケストラ研究生指揮専攻も修了。指揮を尾高忠明、ヴァイオリンを久保田良作、室内楽を岩崎淑の各氏に師事する。

その後、家族の病気などをきっかけに、音楽だけでは人間は幸せになれない事もあると感じ、再度転身を決意し医学部に入学する。

卒業後、東京大学医学部産科婦人科学教室に入局。同大学附属病院産婦人科勤務などを経て、2010年4月より、広尾かなもりクリニック院長。産婦人科専門医、抗加齢医学専門医などとして活躍中。

また、全日本医家管弦楽団などで音楽監督、常任指揮者を務め、東京交響楽団コンサートマスターの大谷康子氏とたびたび共演するなど、各地のオーケストラで指揮者として、またヴァイオリニストとしてもソロや室内楽などで活躍している。

♪座右銘♪

独立自尊。

♪趣味♪

乗り物の操縦（車、大型バイク、船舶、小型飛行機、ヘリコプターなど）。

♪好きな作曲家♪

その時々手がけている曲の作曲家。

§ 飯塚三枝子（ヴァイオリン）

1955年、東京都生まれ。

♪音楽歴&職歴♪

2歳よりモダンバレエを浅川高子氏（後にマーサ・グラハムバレエ入団）に2年間師事し、リトミック教育を受ける。

5歳よりピアノ、8歳より3年間『ひばり児童合唱団』にて歌唱、11歳よりヴァイオリンを始める。

東京学芸大学附属世田谷小・中学校卒業。

東京都立芸術高等学校音楽科卒業。

1978年、京都市立芸術大学音楽学部器楽科卒業。

1978年、東京フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者として入団。

1985年、東フィル退団後、オーストリア、ウィーンコンセルヴァトワールに留学。

帰国後フリーの演奏家、弦楽指導者として、コンサート出演、FM録音等の他、高齢者施設、障害者施設、学校などでの演奏ボランティアを行う。又、小学生との即興演奏でのコラボレーションCD制作に参加。

2000年、英国ウェールズ州カーディフの日本週間に伴う招待演奏に出演。

2001年、ウェールズ州カーディフにて尾高忠明・遵子両氏、BBCウェール交響楽団メンバーと協演。

2003年、新横浜介護老人保健施設カメラリアハビリテーション課音楽療法士として入社。

2004年、東京心理音楽療法福祉専門学校の講師、NPOテクノシップ（東京都港区障害者自立支援センター）音楽講師。

2005年、医療法人寛栄会グループホーム壱番館、NPO法人たんぽぽ新羽音楽講師を兼任。

2005年度の日本学術振興会奨励研究員として『高齢者認知症に対する音楽療法の研究』を行う。

2006年度の日本学術振興会奨励研究員として『高齢者、若年者認知症における音楽療法の研究』を行う。

2008年1月より、京都医療センター音楽療法士となる。脳卒中のリハビリ、腫瘍内科（緩和ケア）の音楽療法を行っている。

現在、京都医療センター、新横浜介護老人保健施設カメラリア、天理よろづ相談所病院音楽療法士。音楽療法の講演等で音楽の医療での効果を症例と共に発表。質の高い、日本人に適した音楽療法の開発を目指している。またヴィオラ奏者としても、ソロ、アンサンブル、プロオーケストラなどの演奏活動も続行中。

日本弦楽指導者協会、日本音楽療法学会、抗加齢医学会の会員。

♪趣味♪

映画・舞台・美術鑑賞、御当地野菜の食べ歩き、旅行。

♪座右銘♪

ローマは1日にして成らず。ケ セラ セラ。

§ 岩田 誠 (ヴィオラ)

1942年、東京都生まれ。

♪音楽歴♪

8歳より鈴木鎮一才能教育堀の内教室でヴァイオリンを始める。

11歳時若木会に移り、山中富貴子氏に師事。12歳より山中三郎氏に師事してヴィオラを始め、若木会室内楽団にてアンサンブルを学ぶ。

14歳時世田谷区立北沢中学校にブラスバンド部を創立し、部長となる。ユーフォonium(バリトン)を担当。同部には、同級生に読売日本交響楽団ホルン奏者となった今井清治君、下級生に作曲家となった池辺晋一郎君がいた。

1958年、東京都立新宿高等学校音楽部に入部して混声合唱を初め、1960年に同部部長となる。

1961年、混声合唱団アルベルネ・ユーゲント・コールに入団し、バス・バリトンのパートを担当。東京都合唱コンクールに入賞しTV出演。

1967年より1998年まで音楽活動中断

1998年東京女子医科大学室内楽団”Concert des Filles”の顧問に就任したのを機会に、同オーケストラでヴィオラを弾き始め、現在に至る。

2007年、日本音楽医療研究会々長となり、第1回研究会を主催。

♪主な職歴♪

1967年より医師として神経内科診療に従事。

1994年より東京女子医科大学神経内科主任教授。

2008年同上定年退職。東京女子医科大学名誉教授の称号を与えられる。

♪著書♪

「見る脳・描く脳、絵画のニューロサイエンス」(1997年、東京大学出版会)。

「脳と音楽」(2001年、メディカル・レビュー社)。

「臨床医が語る脳とコトバの話」(2005年、日本評論社)

「神経内科医の文学診断」(2008年、白水社)。

♪座右銘♪

自由に、されど孤独に (Frei aber Einsam)。



§ 市江雅芳（チェロ）

1956年、長野県生まれ。

♪音楽歴♪

中学入学と同時に吹奏楽部に入部し、アルト・サクスを担当。3年時、顧問の先生から「オーボエかソプラノ・サクスを買おうと思うが、どっちがいい？」と尋ねられ、「これからの時代は、オーボエでしょう！」と答えたところ、数日後、オーボエを手にした先生が、「君の言う通りオーボエを買ったから、君が吹きなさい！」と。以来、今日に至るまで、オーボエと縁が切れず。

2001年、念願のチェロを習い始める。

2004年、オーボエ奏者としてアマチュア・オーケストラで演奏活動を再開。

2007年からは、チェロ奏者としても演奏活動を開始。

♪現在の所属団体♪

仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団（仙台）（オーボエ&チェロ）

ムジカ・ピアッツァ（東京）（オーボエ）

Philomusicotherapeutica（東京）（チェロ）

志音会オーケストラ（松本）（オーボエ&チェロ）

♪主な職歴♪

リハビリテーション科専門医。

1987年、米国ルイジアナ州立大学医療センター整形外科 客員助教授。

1995年、秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科 教授。

1999年、東北大学大学院医学系研究科運動機能再建学分野 教授。

東北大学病院運動機能再建リハビリテーション科長（併任）。

2004年、東北大学未来科学技術共同研究センター音楽音響医学創製分野 教授。

2010年、東北大学大学院医学系研究科音楽音響医学分野 教授。

東北大学病院音楽療法室長（2004年より兼務）。

♪主な所属学会♪

日本生体医工学会（専門別研究会「音楽とウェルネスの学際的融合」会長）。

日本リハビリテーション医学会（関連機器委員会委員）。

バイオメカニズム学会（評議員）。

♪著書♪

「音楽でウェルネスを手に入れる、リハビリ専門医の体験的音楽健康法」（2007年、音楽之友社）。

「声楽家と医学博士が贈る、歌の処方箋」（2008年、カワイ出版）。

「基礎から学ぶ、みんなのリコーダー、楽しくウェルネス！」（2009年、音楽之友社）

♪座右銘♪

今やりたいことがあって、今やれるなら、今やってみよう！